

バリアフリーマップ多言語化

市内の施設などHPで

山形

山形市内の公共施設や店舗に



お知らせ

2022.1.9

令和4年1月17日～令和4年1月20日
福祉のまちづくり連絡委員会が山形市の施設でアンケートを実施し、令和4年1月17日(月)～20日(木)に行われます。

おける車いす対応トイレ、エレベーターなどの設置状況をまとめた市バリアフリーガイドマップが多言語化した。英語、中国語、韓国語に対応しており、市内在住の外国出身者や海外からの旅行者に対しても優しい市をアピールする。

市福祉のまちづくり活動委員会(井上健一委員長)が2003年にガイドマップのホームページ写真Ⅱを開設し、3年ごとに更新を続けている。現在には宿泊施設や駐車場、飲食店、文化施設など市内302カ所に関し、点字ブロック、病気などで腹部に人工肛門や人工ぼうこうを

設けているオストメイト向けのトイレ、段差の有無などを紹介。スマートフォンやパソコンを通じて施設名や地図から検索することで、対応状況を確認できる。

多言語化に当たっては、Googleの自動翻訳サービスを活用した。市国際交流センターの協力で固有名詞に関する表現の適否などを確認した上で、昨年12月から従来の日本語に3カ国語を加えた形でインターネット上に公開している。同委員会委員の黒沼貞志さん(74)は「同市西田1丁目Ⅱは「海外の人に対し、山形市が障害者や高齢者に優しい街だ」というアピールにつながる」と期待を込める。

(伊豆田拓)